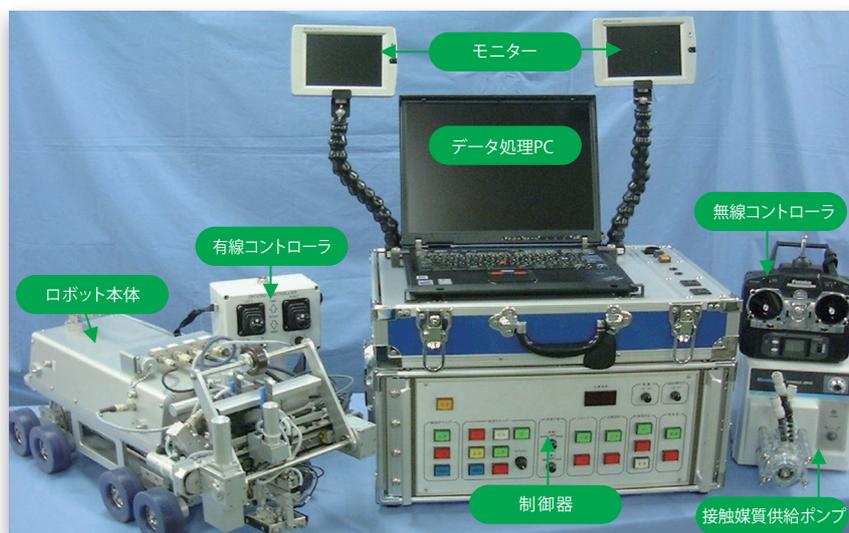


# 多目的鋼板厚さ測定ロボットシステム

多目的鋼板厚さ測定ロボットシステムは、直径3m以上の大口径配管の軸方向・円周方向の減肉がリアルタイムに確認できます。

- ◆塗装膜の上から鋼板の厚さ測定が可能。
- ◆線・面測定が可能(100mm幅の測定が可能)。
- ◆リアルタイムの画像処理で減肉状況が一目でわかる。
- ◆任意箇所の詳細結果表示が可能。
- ◆大口径配管(直径3m以上)の外側から適用。
- ◆上昇時障害物の乗越えが可能(障害物高さ35mm)。

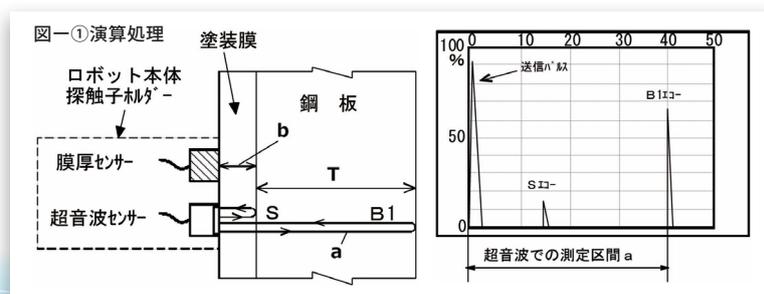
## ロボットシステム



## 測定方法

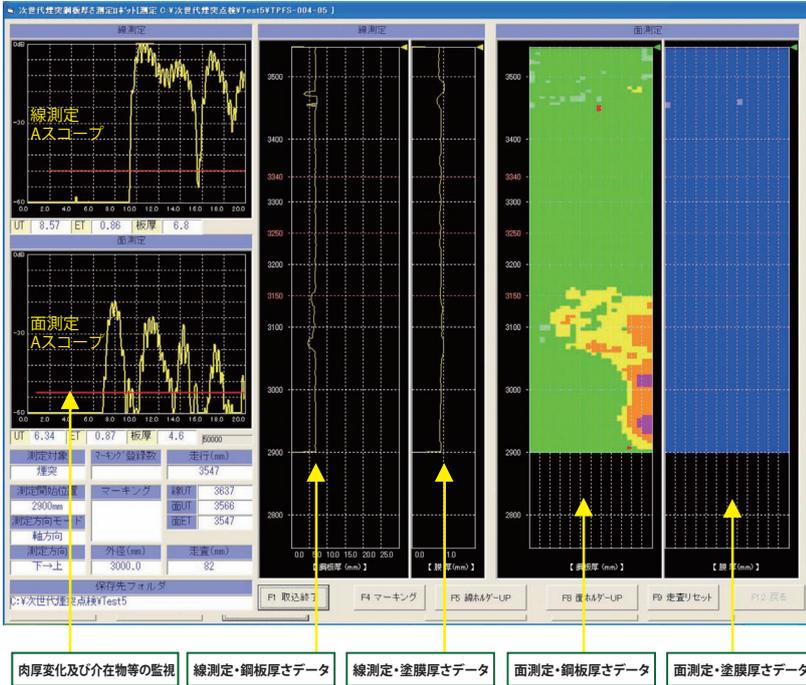
- ◆厚さ測定は、図一①に示すように超音波センサーと、膜厚センサーにより鋼板と塗装膜厚さ(油膜厚さ)を各々測定し、演算処理によって鋼板厚さを求める。

$$\text{鋼板厚さ } T = a - b$$

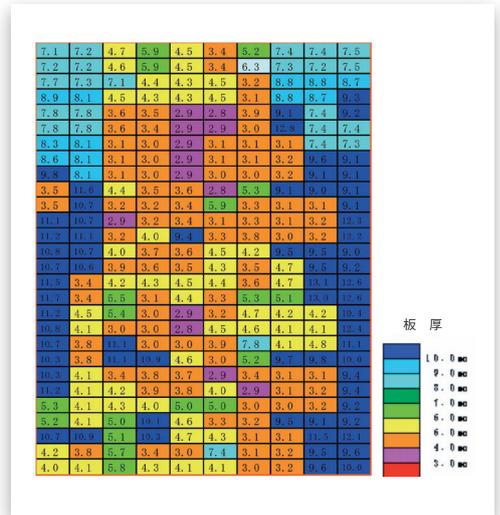


## データ表示

### ■測定中表示画面（線・面同時測定画面）



### ■詳細表示



- ◆ 面測定による測定データは、100mm幅での色分け表示、詳細数値データが表示可能。
- ◆ 線測定による測定データは、1mmピッチの連続データを表示し、取込ピッチ区間の代表値が数値データとして表示可能。
- ◆ 線・面測定の各数値データは、連携して保存された波形データも表示可能。
- ◆ 線・面同時及び単独測定が可能。

## ロボット仕様

- 走行方式：マグネット吸着自走式
- ロボット重量：26.0kg
- 車輪吸着力：21kg/1輪(コーティング<sup>※</sup> 2.5mm)
- 測定速度：1.0 m/min
- 測定範囲：スキャン<sup>※</sup> 方向100mm(面測定)  
(線・面同時及び単独測定)
- ロボット寸法：655mm×498mm×305mm
- 車輪寸法：Φ80mm×32mm×8輪
- 走行速度：4.0m/min
- 測定可能鋼板厚さ：2.0mm～30.0mm
- 測定結果表示：色分け表示/数値表示(面測定)  
1.0mmピッチ連続測定表示(線測定)